

# 【都市OSを基盤とした電子母子手帳データと医師による夜間休日小児 オンライン医療相談サービスとの連携による子育て支援体制の強化事業】

<b>実施地域</b>	長野県茅野市
<b>実施主体</b>	長野県茅野市
<b>事業概要</b>	<p>当市では、令和4年度に都市OSを導入し、これを基にデジタルサービスを連携させ、市民がワンストップで各種サービスにアクセスしたり、生活/医療データがOne IDの元に統合され（オプトインの上で）各種サービスがパーソナライズされるような利用方法の整備を加速させている。一方で、諏訪圏内で運営する小児夜間休日診療所が医師不足のために令和5年度で閉鎖となり、これに代わる小児医療体制の整備が急務である。加えて妊産婦の行政手続きは未だに紙媒体が多く手続きが煩雑で、妊産婦への負担感や行政職員の業務負担につながっている。</p> <p>これらの課題解決のため、本事業において、夜間休日小児オンライン医療相談アプリを導入し、電子母子手帳アプリと都市OSを介してID連携することで、夜間休日でも安心して医師に医療相談ができる体制が構築され、両サービスのデータ連携が可能となる。なお、今後、制度面であるアプリユーザーのオプトインを取得しつつ、取扱いデータの精査等の整備を行い次第、医療相談を実施する医師が、子どもの予防接種記録等の参照できる情報が増えることによる回答内容の精度向上や適正受診の促進を目指す。また、本事業ではこれに加え、電子母子手帳アプリに妊娠届のオンライン提出や来庁予約機能を付与することで、妊産婦の行政手続き及び行政職員の負担軽減を図る。なお、県内の他自治体においてすでに都市OS基盤を導入している自治体はあるが、茅野市が推進している医療・福祉・介護分野におけるデータ連携基盤として活用している自治体はない。</p>

## 取組内容

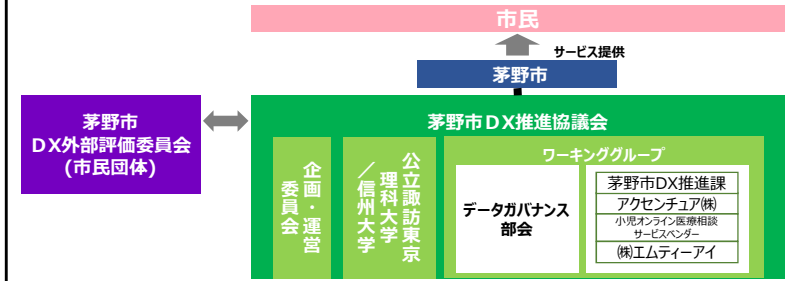
- ・医師による小児オンライン医療相談アプリの導入による夜間休日の小児医療相談サービスの確保  
→小児かかりつけ医の休診時間となる夜間、休日の対応体制として地域外の医師と連携したオンライン医療相談アプリを導入し、保護者の不安感の軽減と医療従事者の負担軽減を図る。  
→さらにアプリを都市OS連携することで、都市OS登録者の医療相談アプリ情報の二次利用データから得られた感染症のローカルな発症動向を解析し、広く周知することで感染症への注意喚起が出来ることも都市OSの活用促進につながる。
- ・小児オンライン医療相談アプリ及び電子母子手帳アプリの都市OSへの共通IDでのログイン機能を実装  
→将来的に利用者の同意のもとに小児オンライン医療相談アプリから電子母子手帳アプリで保有するデータへアクセス（データ連携）することで、医師の相談に対する回答内容の質の向上を目指すための基盤として、都市OSを介して両アプリへ共通IDでのアクセスを可能にする。
- ・電子母子手帳アプリに妊娠届のオンライン提出と来庁予約の管理機能を付与する。  
→妊娠届のオンライン提出を可能にし、妊産婦の妊娠にかかる基本情報を事前に把握することにより、妊産婦の時間的負担を軽減するとともに一人ひとりの状況に寄り添った実質的な指導及び相談を行えるようにする。また行政職員の事務効率化と負担軽減を図る。



子育て世帯が安心して子育てをしやすいまちの実現に寄与する。

※長野県では、今後の県における医療・介護・福祉分野のデータ連携基盤について、現時点では、茅野市が導入済みものを横展開・活用等することで本分野のデータ連携基盤を統一していく方針であることを確認済み。

## 実施体制図



## システム構成図

